

令和3年度 佐織中学校 学校評価アンケート(まとめ)

令和4年2月配付

佐織中学校の教育目標

校 訓 「正しく 強く 明るく」
目指す生徒像 「気づき、考え、実行し、振り返る生徒」

12月に実施しました「佐織中学校 学校評価アンケート」の集計がまとまりました。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。9割を超える回答率で、保護者の皆様が佐織中学校の教育活動に高い関心をもっていることを強く感じました。生徒や教職員にも同様のアンケートを実施しておりますので、その結果を合わせて報告いたします。今後もよりよい学校を目指し、前向きに改善していこうと考えております。これからもよろしくお願い致します。

○ アンケート実施時期 令和3年12月1日～10日

○ アンケート対象・回答数・回答率

【生徒】

282/290 97.2%

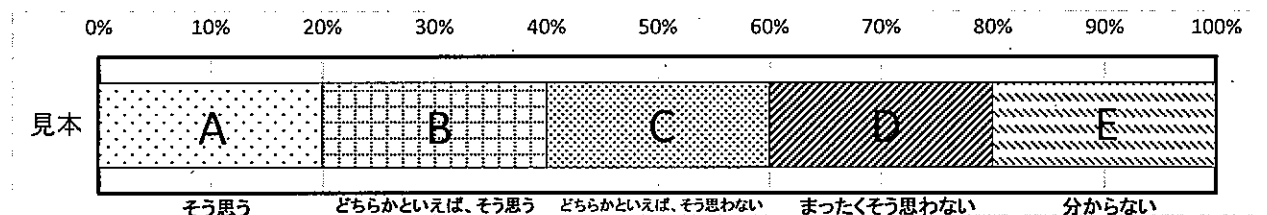
【保護者】

268/290 92.4%

【教職員】

22/22 100%

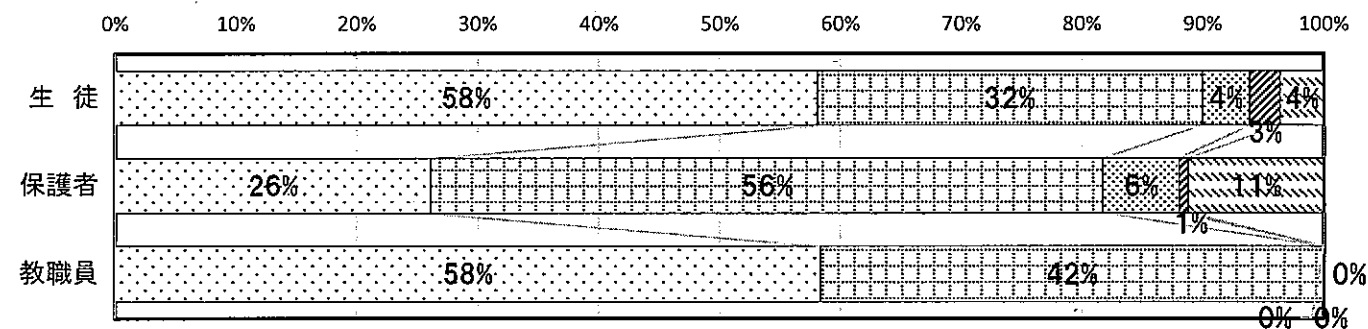
<グラフの区分について>



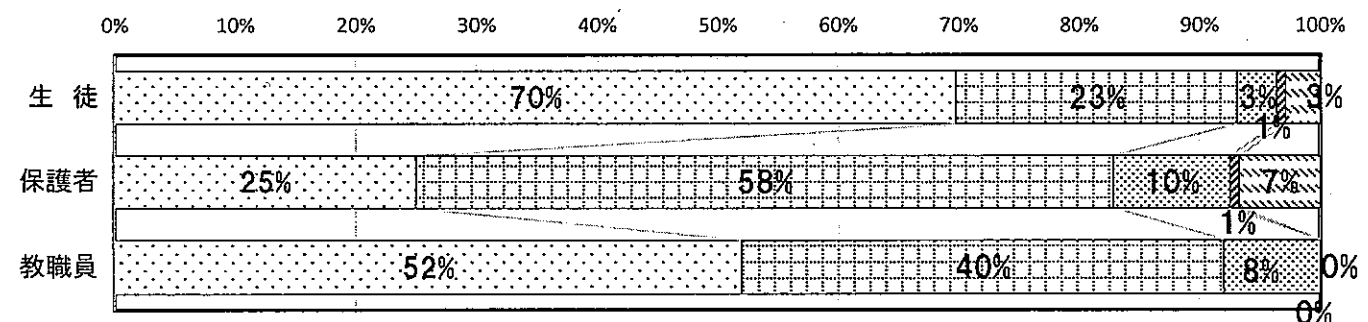
※ グラフについては、整数値で表示する関係で合計が100%になっていない項目があります。

【主に学校生活や人とのかわりに関する内容について】

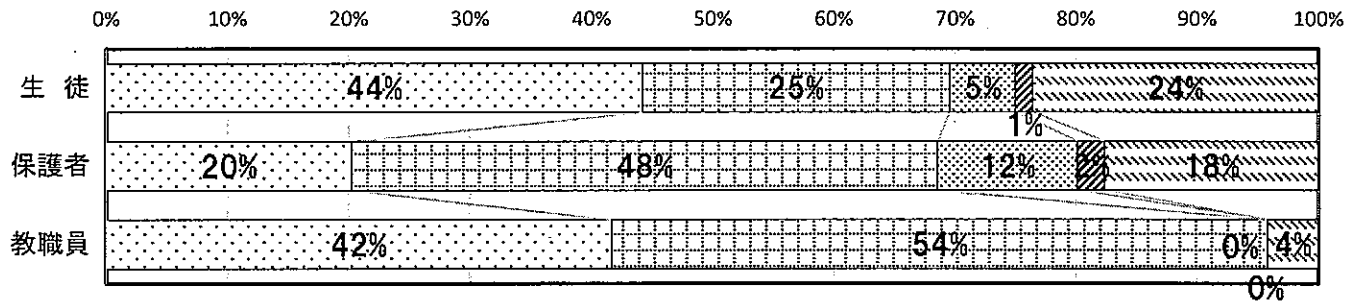
1 生徒が楽しく学校生活を送れるよう努めている。



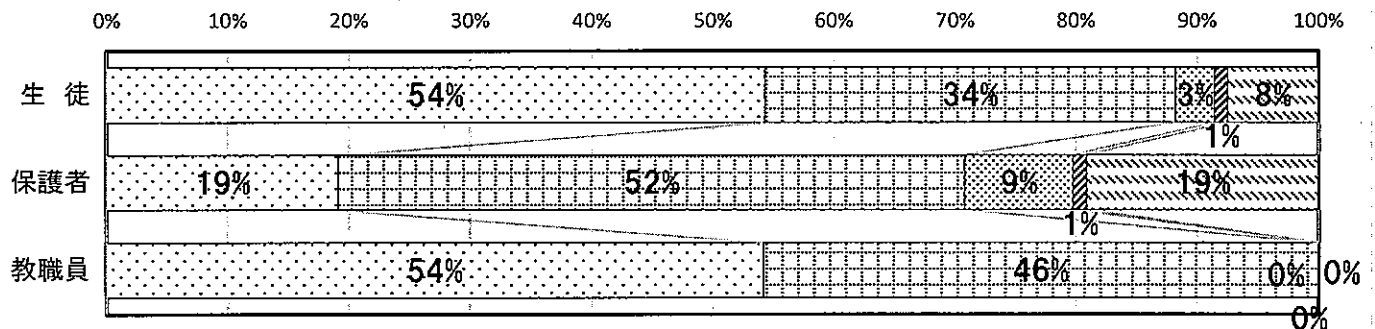
2 学校祭などの学校行事が、よりよいものになるよう努めている。



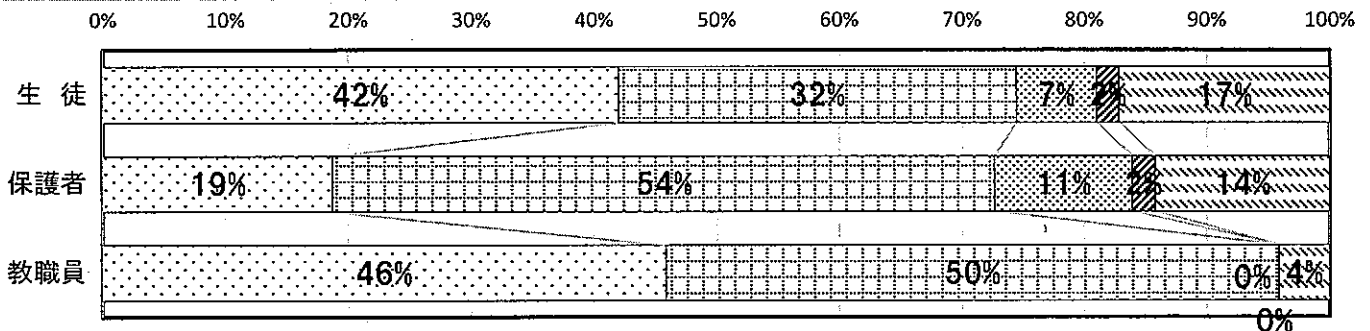
3 生徒の相談に親身になって、組織として適切に対応している。



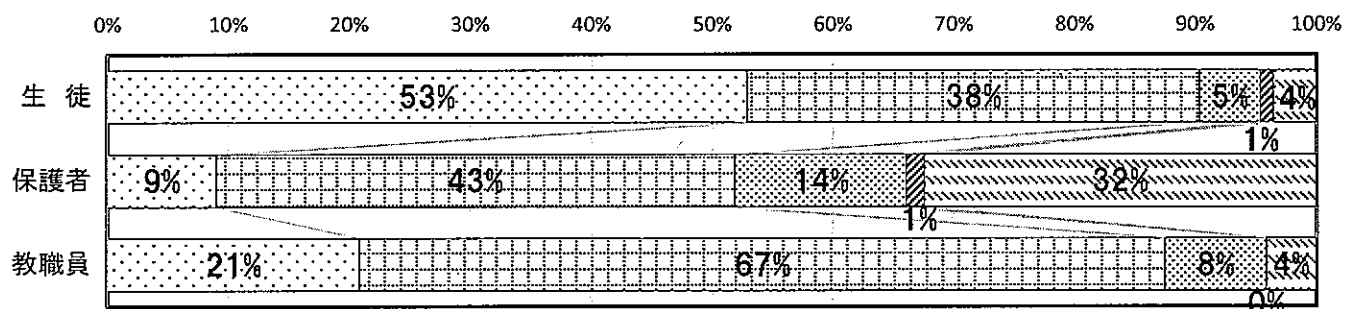
4 いじめのない学校・学年・学級づくりに努めている。



5 生徒の思いや願いを大切にしている。



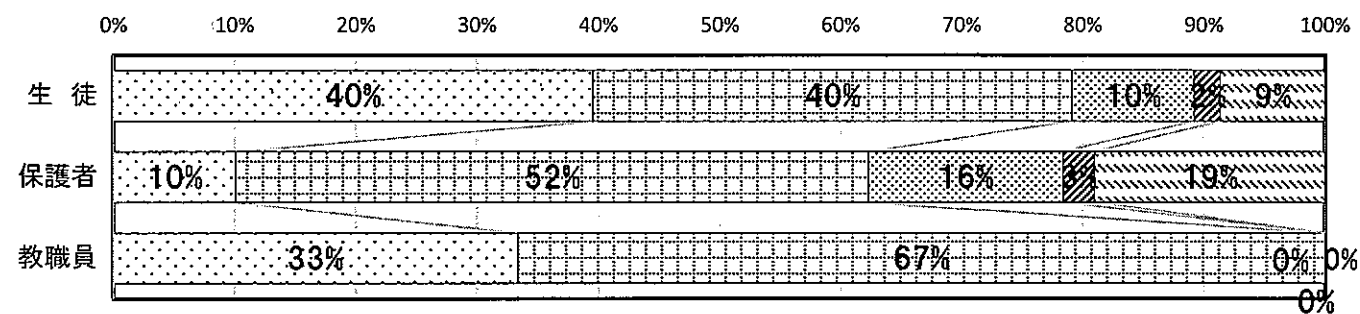
6 生徒が、悩みや問題を自分自身の力で解決するよう努めている。



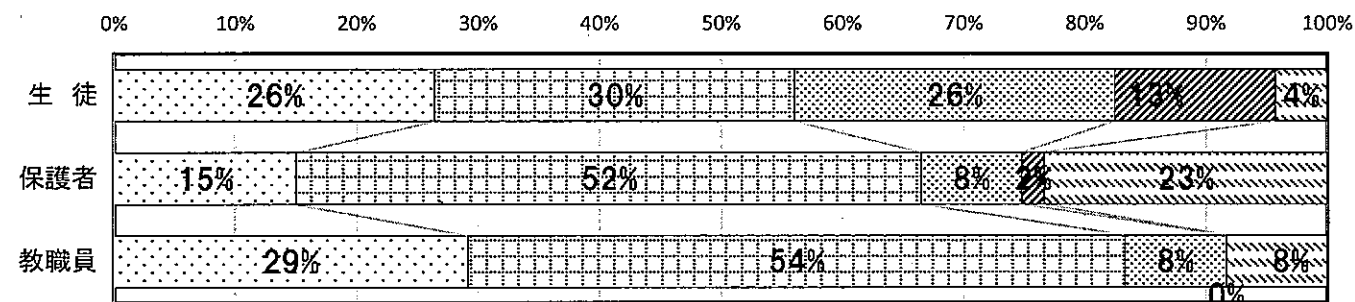
分析	質問1・2については、生徒・教職員の9割以上、保護者の8割以上が肯定的な回答をしていました。質問3・4については、教職員が9割以上に対して、生徒・保護者は7割程度しか肯定的な回答をしませんでした。また、質問4・6については、生徒・教職員は肯定的回答が多い中、保護者は否定的もしくは「分からない」と回答する割合が非常に高くなっていました。
対策	学校生活や学校行事に関する取組について、基本的には教職員・生徒・家庭が一丸となって取り組むことができている結果となりました。 その中で、より生徒の思いや願いに寄り添いつつ親身になって相談に乗ることができるよう、年6回実施をしている生活アンケートだけでなく、日頃の細かな様子の変化について学校と家庭が情報共有できるよう、今まで以上にこまめな連絡等を心がけ、連携を深めていきたいと思ひます。さらに、家庭で学校生活についての会話が多くなるよう、保護者に学校の様子がより伝わる情報発信に努めます。

【主に学習・キャリア指導に関する内容について】

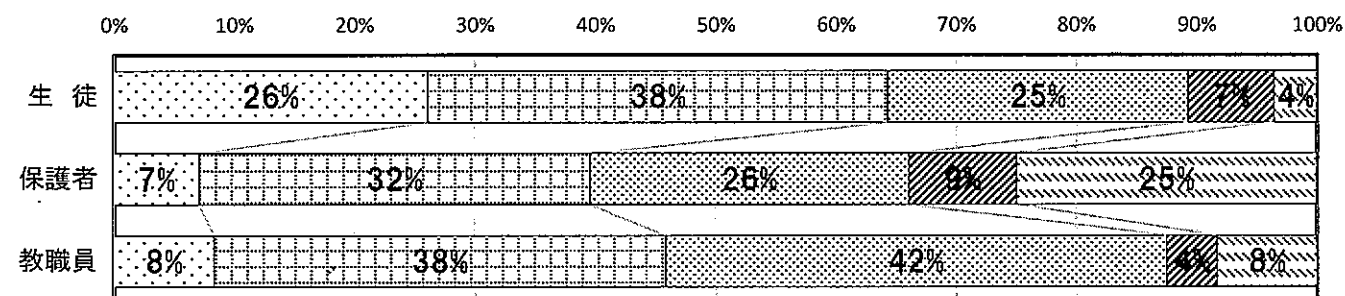
7 授業を通じて、学力の基礎・基本を着実に定着させている。



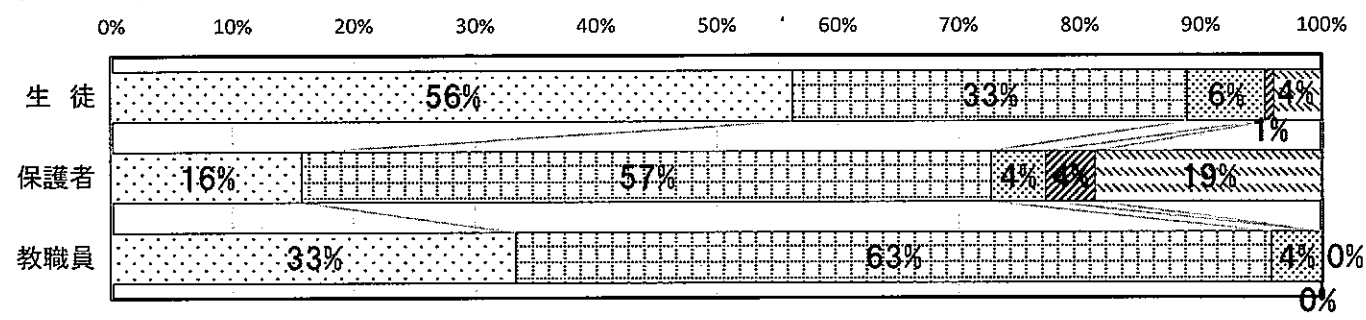
8 生徒が進んで発言したり、主体的に活動したりする授業作りを実践している。



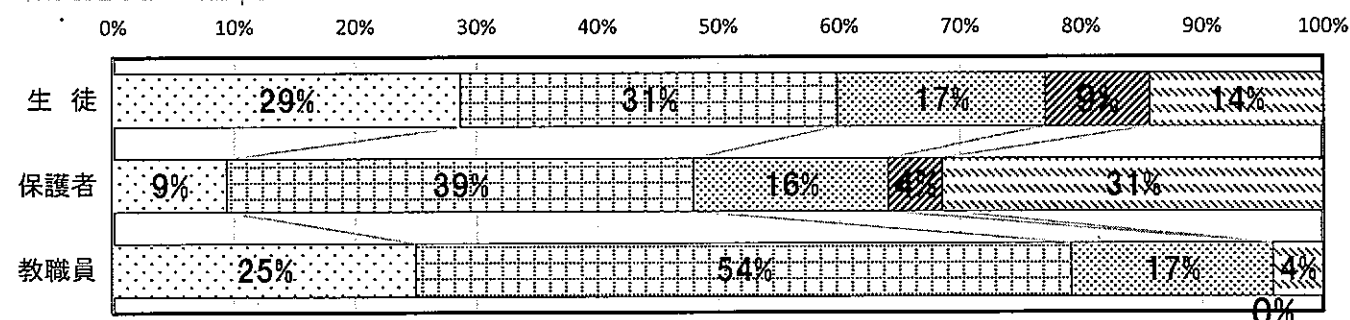
9 生徒が、家庭で自主的に学習や読書をするよう努めている。



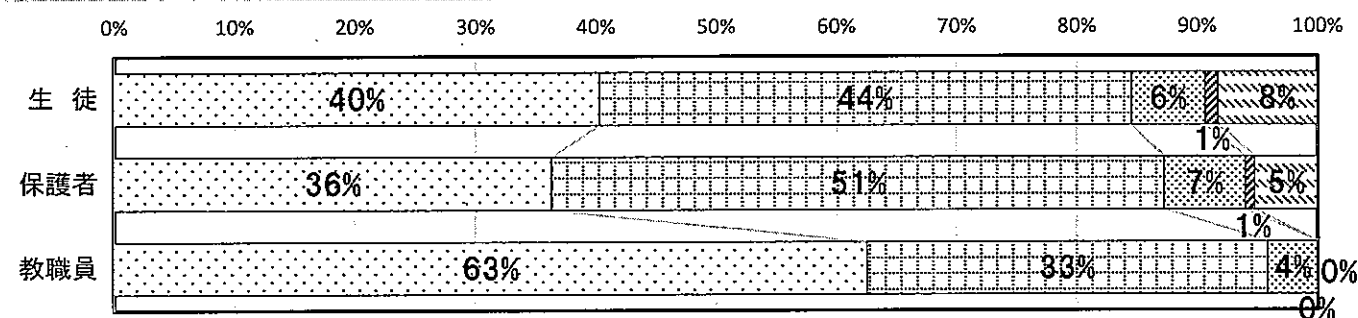
10 生徒同士がコミュニケーションをとり、協力して物事に取り組むよう努めている。



11 生徒が自己を見つめ、将来の夢をもち、それに向けて頑張るよう努めている。



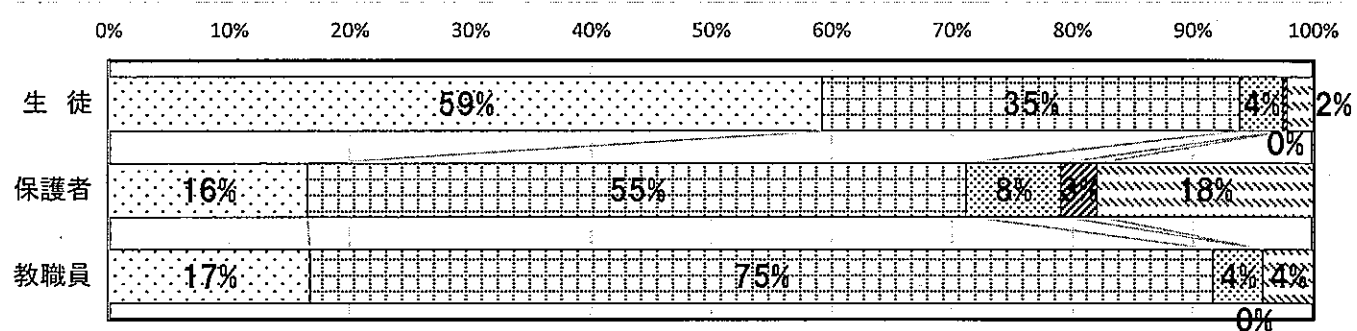
12 社会のニーズや変化に対応した教育活動の推進(タブレット活用を含む)に努めている。



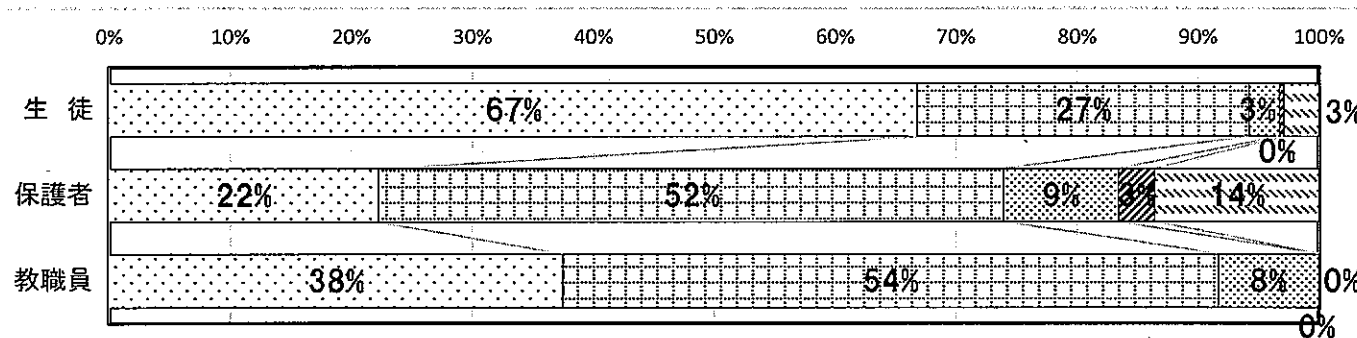
分析	質問8について、教職員の8割以上が肯定的な回答をしているのに対して、生徒は4割近くが否定的な回答をしていました。質問9については、生徒の6割以上が肯定的な回答をしているのに対して、保護者・教職員は4割程度しか肯定的に回答しませんでした。質問11について否定的もしくは「分からない」と回答した保護者の割合が5割を超えていました。質問12については、生徒・保護者・教職員ともに肯定的な回答が9割近くと非常に高くなっていました。
対策	生徒が主体的・対話的に活動する授業作りについて、生徒がより深まりを感じられる授業作りを進める必要があると分かりました。教員研修の実施について、より効果的な内容になるよう検討をします。また、家庭学習やキャリア指導について、生徒の考え・がんばり・悩みを保護者・教職員が実感できるよう工夫をするとともに、充実した家庭学習やキャリア構築のあり方について、学校と家庭が連携して進められるよう検討をします。

【主に生活指導や地域・家庭とのかかわりに関する内容について】

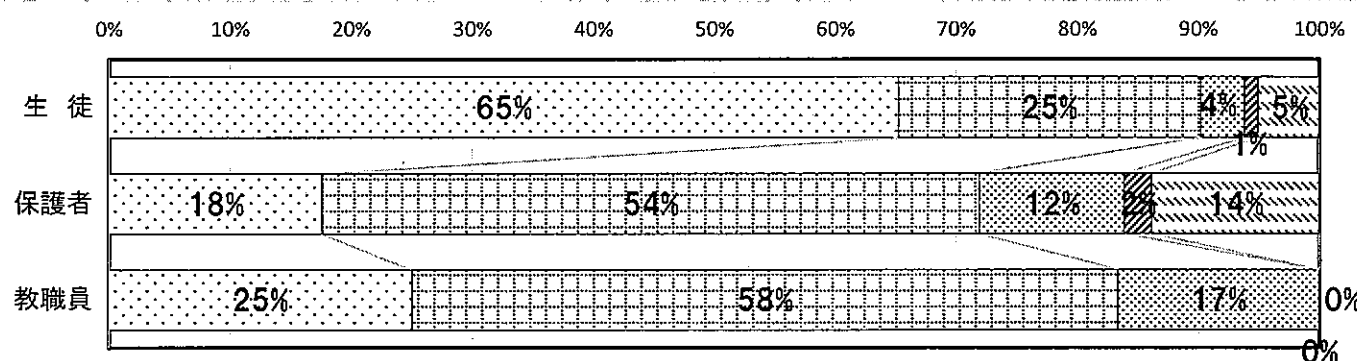
13 生徒が、挨拶・マナー・礼儀を大切にして生活するよう指導している。



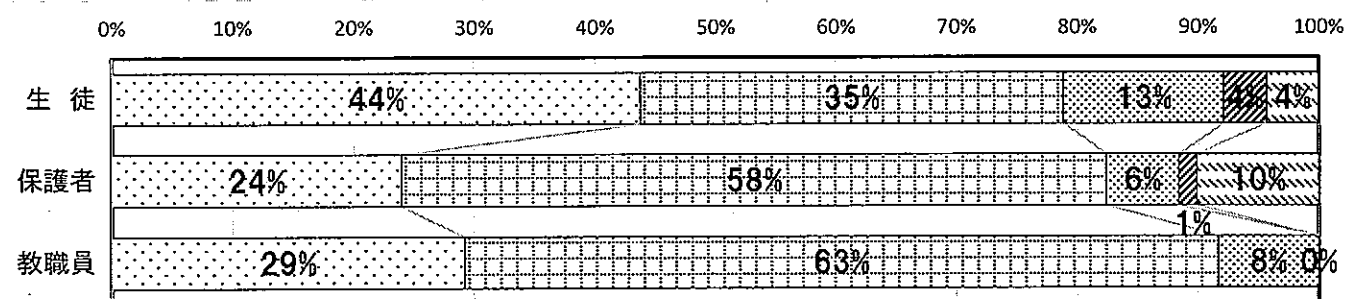
14 生徒が、交通安全に気をつけて登下校するよう指導している。



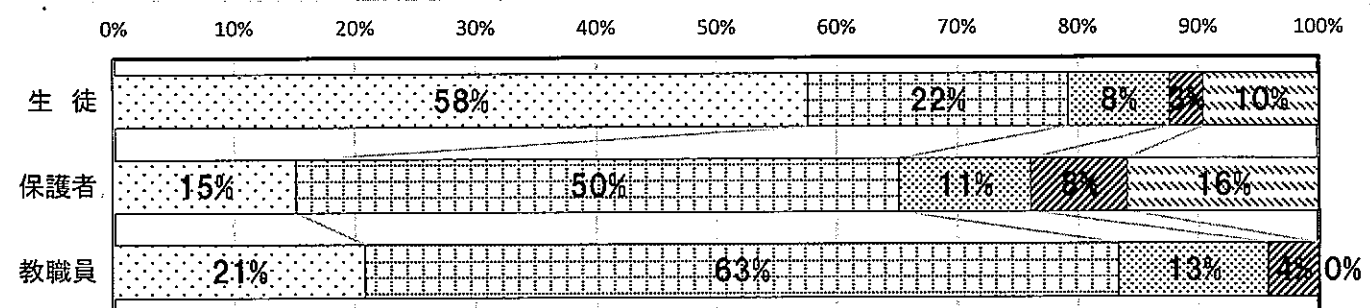
15 生徒が、携帯・スマホ・インターネットを正しく使用できるよう指導している。



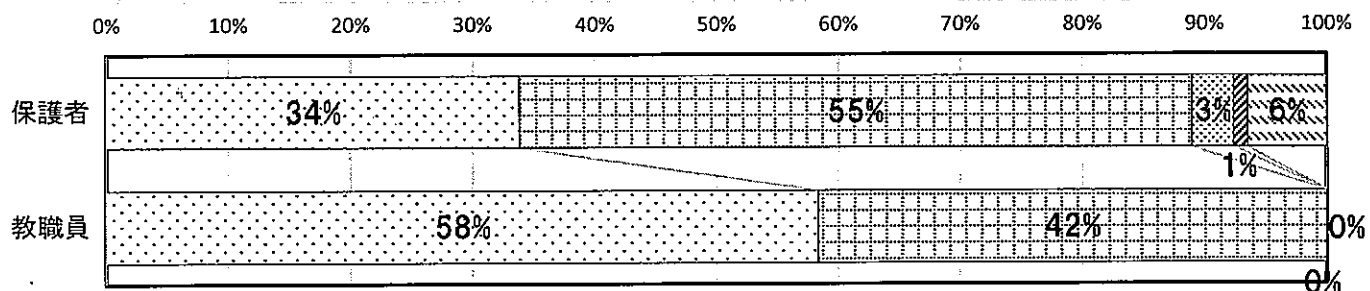
16 生徒が、体調管理に気をつけて、規則正しい生活をするよう指導している。



17 生徒が、部活動に目標をもって一生懸命に取り組めるよう努めている。



18 学年だよりやホームページを活用して、保護者や地域への情報発信に努めている。



分析	質問13・14・15については、どれも生徒・教職員が8割から9割を超える肯定的な回答に対して、保護者の否定的または「分からない」という回答の割合が高くなっていました。質問16については生徒の、質問17については保護者の肯定的な回答の割合が低くなっていました。質問18については、保護者・教職員ともに、肯定的な回答が高くなっていました。
対策	生徒の地域や家庭での生活について、生徒・教職員が思う以上に保護者が心配や不安を感じている面があると推察され、生徒の意識・理解がより向上するよう「知識」に関する指導だけでなく、生徒の実態に即した指導に努めます。ご家庭でも、お子様の生活状況について、こまめに話し合う機会を設けるなど、積極的なご協力をお願いします。 部活動については、近年の活動時間削減により、生徒が目標をもって取り組むことが以前と比べると難しい状況になってきていますが、限られた時間の中で効果的・効率的な練習、さらに部員同士の目標共有等に努めます。